



小林 秀彦
(日本共産党)

品目横断的 経営安定対策

質問 この対策について、「要件緩和でもしなければ該当しない」といった農家の声が多数である。現在、この支援を受けられる戸数、面積、集落営農等の組織状況はどの程度か。また、要件をクリアできない農家への対応策をお伺いする。

答弁 要件を満たしている農家は275戸で市の農家戸数の9%、対象農家の経営面積は2075haで全体の約3分の1になる。また、平成21年度を目標年度としたアクションプログラムでは集落営農を16組織とし、既に集落営農を実施している2組織のほか3集落で集落営農に向けた話し合いを行っている。4ha以下の農家でも市の農業基本構想の過半の農業所得を確保し、対象品目の収入、所得または経営規模が概ね3分の1以上という緩和要件がある。市でも基本構想の認定基準を現在の750万円から400万円に見直

し、より多くの農家を対象としたい。

能代産業廃棄物 処理センター

質問 この問題については、調査、環境保全対策に多額の税金を投入しているが、市長としてこの問題についてどのように考えているか。また、終末処理場へのセンターからの処理水の受け入れについてと使用料を県より徴収する考え方をお伺いする。

答弁 市の重要課題と位置づけ、環境保全対策や処分場調査など、環境対策協議会等において県及び地元住民と協議しながら特定支障除去等事業実施計画の着実な推進を図り、環境不安の解消を目指す。処理水の受け入れについては、引き続き県との協議において、環境対策協議会の動向や終末処理場の受入能力、水質等を勘案して、受け入れの可否を判断し、また、使用料は下水道事業の経営状況を踏まえながら、市全体として徴収及び軽減について総合的に判断してまいりたい。

小林議員のその他の質問事項

- ・能代河畔公園整備事業について
- ・障害者自立支援について



渡辺 優子
(公明党)

食育基本法と 食育推進基本計画

質問 豊かで健やかな食生活を目指して、昨年施行された食育基本法に基づき、自治体に「推進計画」の作成を求めている。市の取り組みは。また、推進基本計画では、2010年までの達成数値を示している。市の9項目の現状はいかがか。

答弁 市町村は、国の食育推進基本計画、県の食育推進計画を基本として計画を作成することとなっている。県では今年度中に食育推進計画を策定する予定で、市では県の策定を待って、国・県の計画をもとに市の実態に即した計画を作成しなければならぬと考えている。市の計画はまだ作成されていないので、食育の推進に当たった目標値は、まだ定められていない。今後、食育推進計画を作成する場合は、食育の推進の目標に関する事項について、その達成を目指し取り組んでいきたい。

渡辺議員のその他の質問事項

- ・能代っ子ドリーム会議について

能代市の観光振興 への取り組み

質問 政府は、観光立国を目指すことを宣言し、市も観光政策の充実を図るべき。高速道路の開通で県北への入り口となるが、通過点にするのか観光拠点とするのか。また、現在の商工港湾課の観光振興室を観光課に格上げすべきでは。

答弁 本市を観光拠点にするため、首都圏からの修学旅行やプレスツアーなどの誘客活動、PR活動を、周辺町が一体となって取り組み、五能線沿線市町村や県北地域とも連携して、広域観光の観点で誘客を図っている。白神山地の玄関口として、観光客にも名前が知られてきており、高速道路が本市まで伸びたことにより移動時間の短縮、滞在時間の延長などが期待され、まずは能代へ来てもらうよう情報発信に努め、誘客活動を進めてまいりたい。観光振興室の体制強化について年内に見直したいと考えており、名称や人員等を現在検討している。